

## 太陽グリーンエネルギーが 11カ所目の水上太陽光発電所を香川県に開所

太陽ホールディングス株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 英志、証券コード:4626)の子会社である太陽グリーンエネルギー株式会社(本社：埼玉県比企郡嵐山町、代表取締役社長：荒神文彦)は、このたび、11カ所目となる水上太陽光発電所を香川県において開所しましたので、お知らせいたします。

今回開所した発電施設は、既に設備計画認定を取得している他事業者より事業の権利を譲り受け、設立しました。これにより、太陽グリーンエネルギーによる年間想定発電量は一般家庭6,600世帯分相当(※1)の約20GWhとなります。

太陽グリーンエネルギーは、再生可能エネルギー特別措置法に基づく再生可能エネルギー全量買取制度導入にともない、2015年10月21日に嵐山花見台工業団地(埼玉県比企郡嵐山町)の調整池にて同社初となる水上太陽光発電を開始しました。この度開設した小田池水上太陽光発電所を含め、これまでに計11基の水上太陽光発電施設を開設し、国内グループ電力消費量の130%相当(※2)のグリーンエネルギーを発電しています。

※1：1世帯当たり3,000kWh/年で算出

※2：2018年末時点での集計データで算出

### 【水上太陽光発電所 概要】

**名称：** 小田池水上太陽光発電所  
**設置場所：** 香川県高松市香南町池内字出宮原  
**開所日：** 2019年12月27日  
**発電規模：** 約 2,848.5 kW  
**想定発電量：** 約 4,020千 kWh/年(初年度 12ヵ月換算)



一般に太陽光パネルは温度が上昇すると発電量が減少する性質がありますが、水上設置型は水面の冷却効果により太陽光パネルの温度上昇を抑えることができるため、陸上設置型に比べて発電効率の面で有利といえます。また、水面への日射をさえぎることによるアオコ発生の抑制も期待できます。

今後も当社グループでは、自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の普及促進や、地球規模の環境問題に真剣に取り組むことで社会に貢献してまいります。